

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

C O N T E N T S

ページ 項目

2 森田会長 新年のご挨拶

報告 <Report>

2 初級職能開発講習会 報告

4 広臨技事務職員交代のお知らせ

案内 <Information>

5 第37回広島県医学検査学会～第6報～

7 ベッドサイド実践講習会のご案内

第37回 広島県医学検査学会 抄録集

テーマ / 新しい時代を迎えて



撮影 黒島 廣太郎技師 (JR 広島病院)

令和2年2月15・16日 広島YMCA国際文化センター

「集まれ！広臨技」開催のお知らせ

第37回広島県医学検査学会に先立って開催されます。

【開催日】令和2年2月15日(土) 14:20～15:35

【場所】広島YMCA国際文化センターBF1 国際文化ホール
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀7-11

【内容】

演題①「ウェブサイトの必要性について」 三舛 正志(広臨技副会長)

演題②「知ってほしい、知ってよかった広臨技」 各部門代表者

生涯教育基礎20点が付与されます

広報部連絡・専用E-Mail <koho@hiroringi.or.jp>速報原稿の送付、広報部へのご意見等
をお願いします。モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは1月10日です)



新年のご挨拶

一般社団法人 広島県臨床検査技師会
会長 森田 益子

会員の皆様に対し、謹んで新春のお慶びを申し上げます。平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

元号が代わり初めての令和の新春を迎え、今年もめまぐるしい勢いで変化していくことだと思います。

昨年は、ゲノム医療元年と言われ新たに保険での遺伝子パネル検査が開始され、がん治療の新たな一歩が日本でも踏みだされました。

また、医療体制の変化は、臨床検査の社会も例外ではなく変化を求められています。

今後も精度管理、遺伝子検査の基準を担保できるのは、臨床検査技師です。そのことに対応できる事業を展開していきます。精度管理向上研修会、人材育成を目的に「次世代ニューリーダー育成講習会」を開催いたします。多職種協働医療の実現を目指し、ベッドサイド実践講習会を開催いたします。また、日臨技では、精度管理責任者の質の担保や研修会に参加が難しい方にも、eラーニングを利用し、研修ができる体制が整っています。ご参加、ご利用をお願いいたします。

一昨年と同様に昨年も全国各地で異常気象による、災害が多発いたしました。備えとして広臨技としても、災害に備える取り組みをまとめ、災害対策マニュアルの整備等に着手していく所存です。

また来年度、広臨技は創立70周年を迎えます、式典や記念講演などを開催いたします。

皆様のご協力をお願いいたします。

様々な我々の取り組みが実績となり臨床検査にかかわる技師や企業が臨床検査の必要性や価値を高める努力をすることが、県民の皆様の健康福祉に貢献できることを信じております。

これからも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員皆様方とご家族のご健勝と益々のご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

令和元年度 初級・職能開発講習会 報告

令和元年11月24日(日) 広島赤十字・原爆病院 東棟9階講堂において、令和元年度 初級・職能開発講習会が以下の内容で開催されました。

<プログラム>

10:00	会長講和「医療情勢と今後の方向性について」(ビデオ上映)	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会長 宮島喜文
10:35	基調講演「多様なニーズに対応する臨床検査技師のあり方」	一般社団法人 広島県臨床検査技師会 会長 森田益子
11:40	「eラーニングシステム バリュージェリッシュ紹介」	一般社団法人 広島県臨床検査技師会 組織調査部 小松浩基
12:15	昼食	
13:15	アイスブレイキング (グループに分かれてのゲーム)	
13:30	グループワーク (9グループ)	
15:00	グループワーク発表	
16:00	終了	

今回は卒後4～7年目の会員を対象に、臨床検査技師職能団体としての組織強化を図ることを目的に、早い段階から臨床検査の将来や、医療を取り巻く環境の変化等を的確に把握し、時代を先取りできる医療人、職能人としてのスキルアップを図るための講習会としました。55名申込みがあり、当日は52名の参加がありました。グループワークでは、9グループに分かれて、各グループで問題・課題を見つけてテーマを決め、意見をまとめてプレゼンテーションを行われました。

アンケートでは、

- ・グループワークは初めて行った参加者が約半数でしたが、半数以上の35名がグループワークにおいて意見交換ができたとの回答でした。
- ・他施設の同年代の方と、他施設の状況や取り入れたらよさそうな事など意見交換ができた良い機会になったと19名が回答していました。
- ・36名が次回も参加したいとの回答でした。

【参加者感想】

令和元年1月24日に広島赤十字・原爆病院で開催された初級・職能開発講習会に参加しました。卒後4～7年の検査技師が対象ということで同年代の技師が多く集まりました。午前は宮島会長のビデオ上映と森田会長の講演がありました。主に検査技師の現状とこれからどのようにするべきなのかという内容でした。現在臨床検査技師にとって大きな転換期にあり、現状維持では衰退・消滅の危機にあることを知りました。現状での技師は医師法による医行為の制限のため業務範囲が広がらないこと、管理職の任用がないこと、養成校の増加、地域偏在で需要と供給のバランスが取れていないこと等が挙げられました。これらのことは改善してきましたが満足できる状態ではないということでした。平成27年に法律が改正し技師の検体採取できる幅が広がりましたが、私自身も看護師にお願いすることが多く反省しました。また、近年AIが発展してきていますが、AIにより消える職種ランキングで検査技師は

【アンケート集計結果】

・普段は業務に関する勉強会にしか参加しないが、臨床検査技師のこれからについて考える良い機会になった、生涯教育やeラーニングなど知らなかったことを知ることができた。

・前回は参加しましたが、2年経つと受け取り方や感じ方が前回と違ってとても貴重な研修会でした。

(組織調査部長 難波浄美)

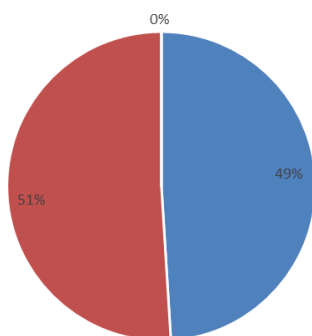


57位と医療系では高い順位で驚き、そして危機感を覚えました。AIに乗っ取られないよう上手く利用し、在宅検査・病棟常駐を目標に検査の説明や相談、検体採取をしていかなければいけないと強く思いました。午後からはグループワークがありました。9つのグループに分かれそれぞれテーマを考え、発表するというものでした。グループワークの前にはアイスブレイキングがあり、自己紹介と新聞紙を使ってどのグループが1番高い塔を作れるかというゲームをしました。アイスブレイキングのおかげかグループワークはすんなり意見交換が行えたように思います。約1時間半時間があつたのですが私たちは話が展開しすぎて若干時間不足でした。発表を行い同じテーマでも様々な意見が出たため大変勉強になりました。今回の講習で学んだことを日々の業務にいかすことができるようしっかりと意識し、取り組んでいきたいと思っています。

(安芸太田病院 中島)

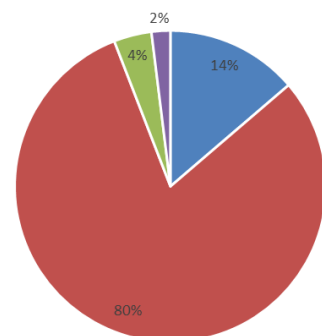
1.なぜ参加しようと思ったか

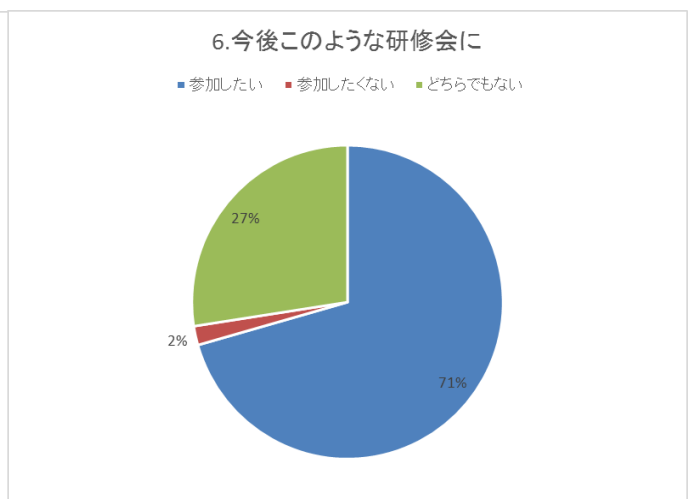
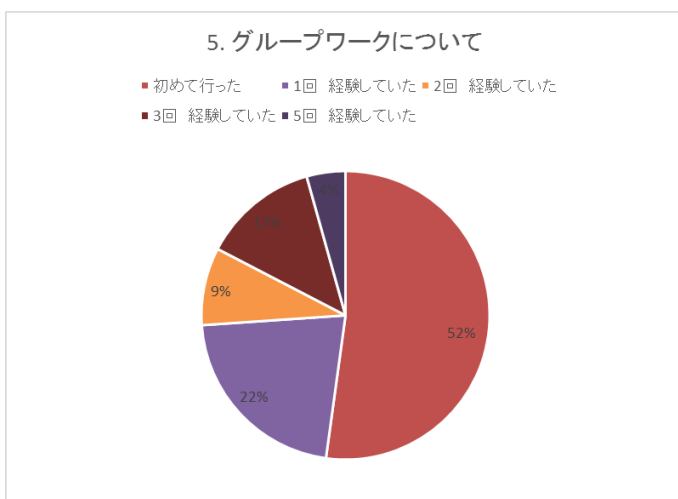
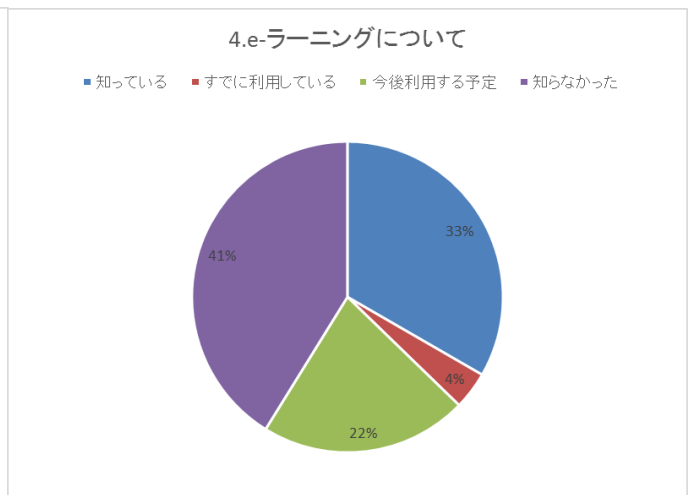
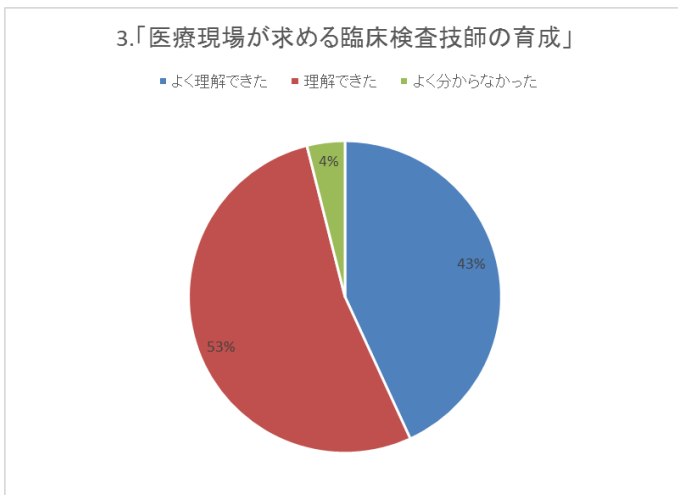
■興味があったから ■行くように言われたから ■その他



2.「医療現場が求める臨床検査技師像」

■よく理解できた ■理解できた ■よく分からなかった ■無回答





広臨技事務職員 交代のお知らせ

退職された細川さんは、平成 21 年 1 月より広臨技事務職員としてご勤務され、令和元年 11 月に退職されるまでの約 11 年間、広臨技を支えていただきました。新任の高橋加代子さんは、経理のご経験があります。

細川さん、長い間ありがとうございました。高橋さん、これからよろしくお願ひします。



左：高橋さん 右：細川さん

第 37 回 広島県医学検査学会（第 6 報）

【開催日】 令和 2 年 2 月 15 日（土）～16 日（日）

【場 所】 広島 YMCA 国際文化センターBF1 国際文化ホール
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

【学会内容】

●メインテーマ

～新しい時代を迎えて～

第 1 日目（令和 2 年 2 月 15 日）

●みんなで考える症例検討会 2 題

*クリッカーを使用した参加型の検討会

I 「おなかが痛い」

II 「足がしびれる」

第 2 日目（令和 2 年 2 月 16 日）

●モーニングセミナー

アボットジャパン合同会社

『臨床支援を見据えたこれからの検査室
—聖隷浜松病院での取り組み—』
講師：聖隷浜松病院臨床検査科 米川 修先生

●ランチョンセミナー

*事前申込み制

①ベックマン・コールター株式会社

『敗血症早期診断のための新たな可能性』

講師：ベックマン・コールター株式会社ダイア
グノスティックス 奥野 文悟 先生

②キヤノンメディカルシステムズ株式会社

『肝疾患診療における腹部超音波と検査技師の
役割～当院での取り組みを踏まえ～』

講師：広島赤十字・原爆病院 消化器内科
高木慎太郎先生

●市民公開講座

がんの本質に迫る

「がんゲノム医療」の現状と課題
広島大学病院 檜井 孝夫先生

●一般演題

午前・午後の 2 部構成

＜一般演題（発表順） 午前の部：1～8 午後の部：9～14＞

番号	氏名	所属	演題	領域
1	小林美孔	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院	当院における血中薬物濃度検査の血清分離剤が及ぼす影響の検証	生物化学分析
2	長田夏実	県立安芸津病院	当院での骨粗鬆症患者における骨代謝マーカーの最小有意変化（MSC）の検討	
3	糸谷祥子	東広島医療センター	全自動尿中有形成分分析装置 UF-5000 における病的円柱の検出と鏡頭分類との比較	臨床一般
4	中村晶菜	広島赤十字・原爆病院	尿蛋白定性についての検討～アルカリ尿における再検って必要?～	
5	松田浩明	公立学校共済組合中国中央病院	右脚ブロックを呈した不安定狭心症の一例	臨床生理
6	本堂夏実	厚生連 広島総合病院	経胸壁心エコー検査を契機に診断に至った冠静脈洞左房交通症の 1 例	
7	宇根千尋	公立学校共済組合中国中央病院	成人男性に発症した <i>Streptococcus agalactiae</i> による感染性心内膜炎の一例	臨床微生物
8	原田耕輔	JR 広島病院	グラム染色所見と MALDI Biotyper による同定が診断に有用であった <i>Brachyspira pilosicoli</i> による腸管スピロヘータ症の 1 例	

9	澁田比呂志	三原市医師会病院	MIC 判定補助システムの紹介と三原市医師会での感受性データ報告	臨床微生物
10	山本望	呉市医師会臨床検査センター	呉市開業医のアンチバイオグラムについて	
11	石田有里	広島市医師会臨床検査センター	ISO15189 取得に向けた微生物検査室の内部精度管理の取り組み	
12	西井詩保	山陽女子短期大学	リンパ球における非特異的エステラーゼ染色の検討	臨床血液
13	森崎敬祐	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	急性鉛中毒の2症例を経験して	
14	中島淑貴	厚生連 広島総合病院	全自動血液学検査装置における患者新鮮血と管理試料を用いた内部精度管理の試み	

<座長>

部門	座長	座長所属
生物化学分析	岡本 潤	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
臨床一般	渡邊 隆徳	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
臨床生理	加納 昭子	広島大学病院
臨床微生物 (午前)	奥田 立子	済生会広島病院
臨床微生物 (午後)	吉田 知子	地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立安佐市民病院
臨床血液	坂本 美智子	一般社団法人広島市医師会臨床検査センター

<第37回広島県医学検査学会 懇親会申し込みについて>

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX または メール にてお申込みください。

日時：2020年2月15日(土) 18:00~20:00

会場：広島 YMCA 2号館コンベンションホール

会費：5,000円(※ 学会受付時に徴収いたします)

申込締切り：2020年1月31日(金)

参加申込先：FAX：082-502-6031 (広臨技事務所宛て)

Mail：dtkomatu1967@gmail.com (JA 広島総合病院 小松浩基 宛て)

第37回広島県医学検査学会 懇親会参加申込書

参加施設名：_____

会員番号	氏名	会員番号	氏名

研修会開催のお知らせ

2019 年度 日臨技、広臨技主催 ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）

目的

国民の医療に対するニーズの多様化、複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へ、病院から在宅へと、より患者の身近での検査業務が求められています。

患者の視点に立った医療の提供が求められ、チーム医療の推進が加速している現状において、臨床検査技師以外の他職種の業務を学び、他職種連携のチーム医療に積極的に参画することが必要です。このような内容を踏まえ、ベッドサイド実践講習会（旧多職種連携のための臨床検査技師能力開発講習会）を開催いたします。多数のご参加をお願いいたします。

日時

2020年3月7日（土）～8日（日）

会場

県立広島病院

募集人数

60人

参加費

2,000円

受講対象

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を受講した者
詳細は広臨技ウェブサイト 研修会情報をご参照ください。

